

# 全学サービスの全体像

---

情報基盤センター 田浦健次郎

# ICTシステム概要（再）



# 以降の内容

- ◆ Microsoft 365
- ◆ Google Workspace
- ◆ Zoom
- ◆ WebEx (説明省略)
- ◆ Sli.do (説明省略)

# Microsoft 365





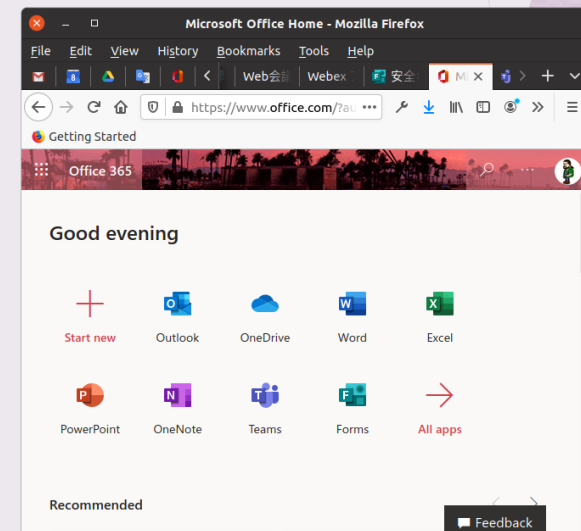
# Microsoft 365

## ◆ サインイン

- ◆ <https://www.office.com/>
- ◆ UTokyo Accountでシングルサインオン (SSO)

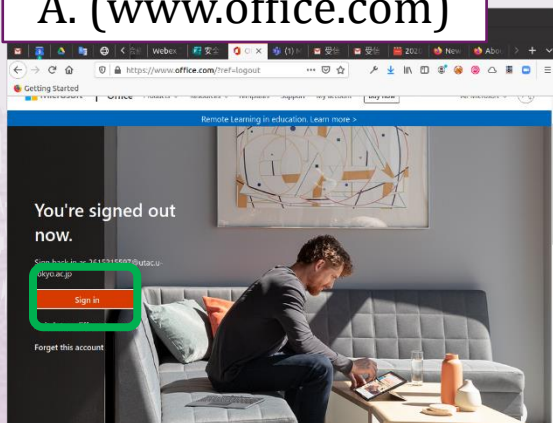
## ◆ 機能

- ◆ ファイル共有: OneDrive
- ◆ 文書作成: Word, Excel, PowerPoint
- ◆ アンケート: Forms
- ◆ Web会議, chat, etc.: Teams
- ◆ LMS的機能: Class Notebook



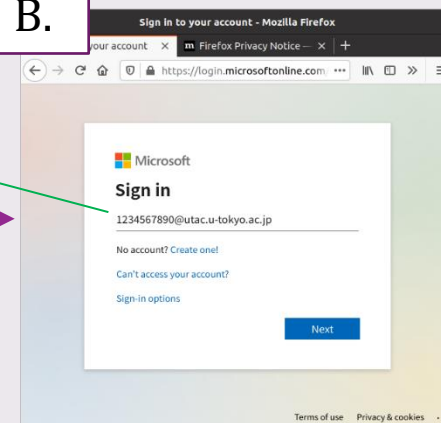
# Microsoftサインイン全パターン

## A. (www.office.com)



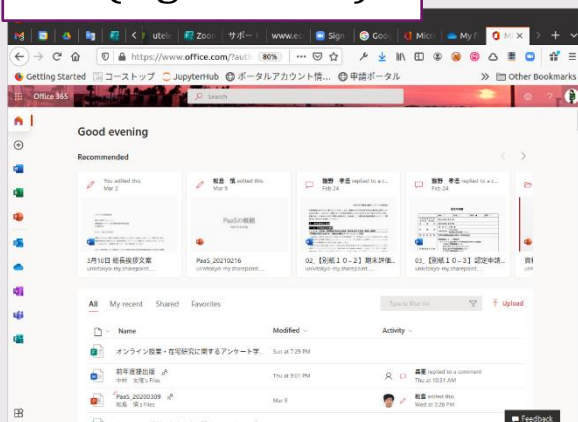
入力: ...@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属機関を明示)

## B.



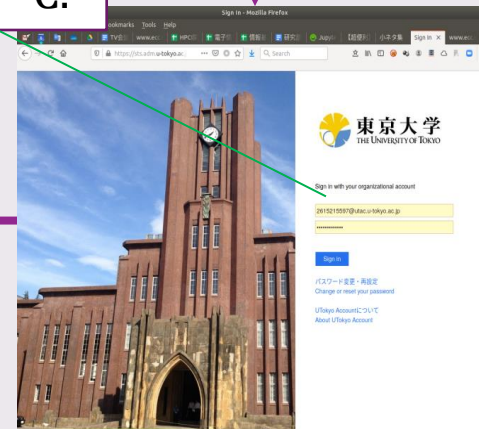
(状態によりB, Cが  
スキップ)

## D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

## C.



多要素認証を設定している  
人はここで求められる



Zoomでも似たパターンが出てきます

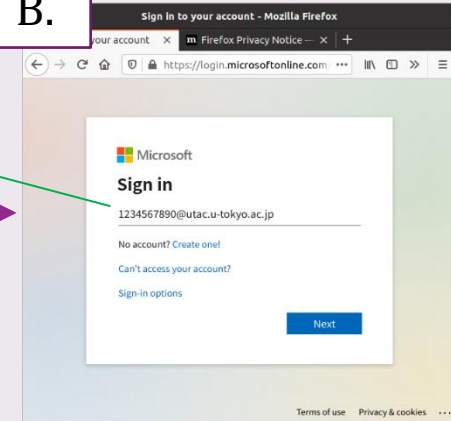
# これはSSOする際の共通パターン

## A. スタート

入力: <https://目的ページ/>

入力: [...@utac.u-tokyo.ac.jp](mailto:...@utac.u-tokyo.ac.jp)  
(所属組織を明示)

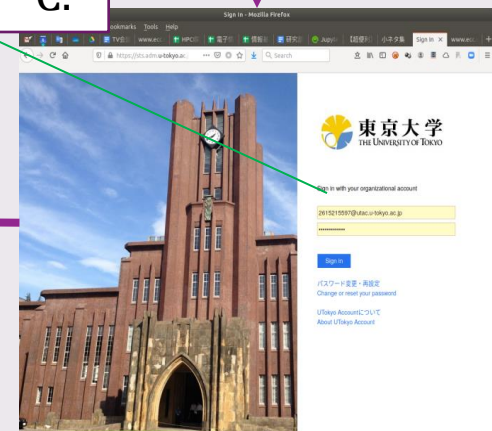
B.



(状態によりB, Cが  
スキップ)

入力: UTokyo Account名、  
パスワード

C.



## D. (sign in成功)

目的ページ

多要素認証

2022/3/16

2022Sセメスタ説明会  
<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/>

# サインインでありがちなトラブル


- ◆ 個人や別組織のMSアカウントをすでに利用して（させられて）いるかも
  - ◆ ⇒ 本学のMSアカウント（=10桁@utac.u-tokyo.ac.jp）を使う場面で知らぬ間に前者を使っているかも
- ◆ ブラウザは以前のサインイン情報を覚えていることが多い
  - ◆ ⇒ （原因追及が難しい）トラブルが生じがち

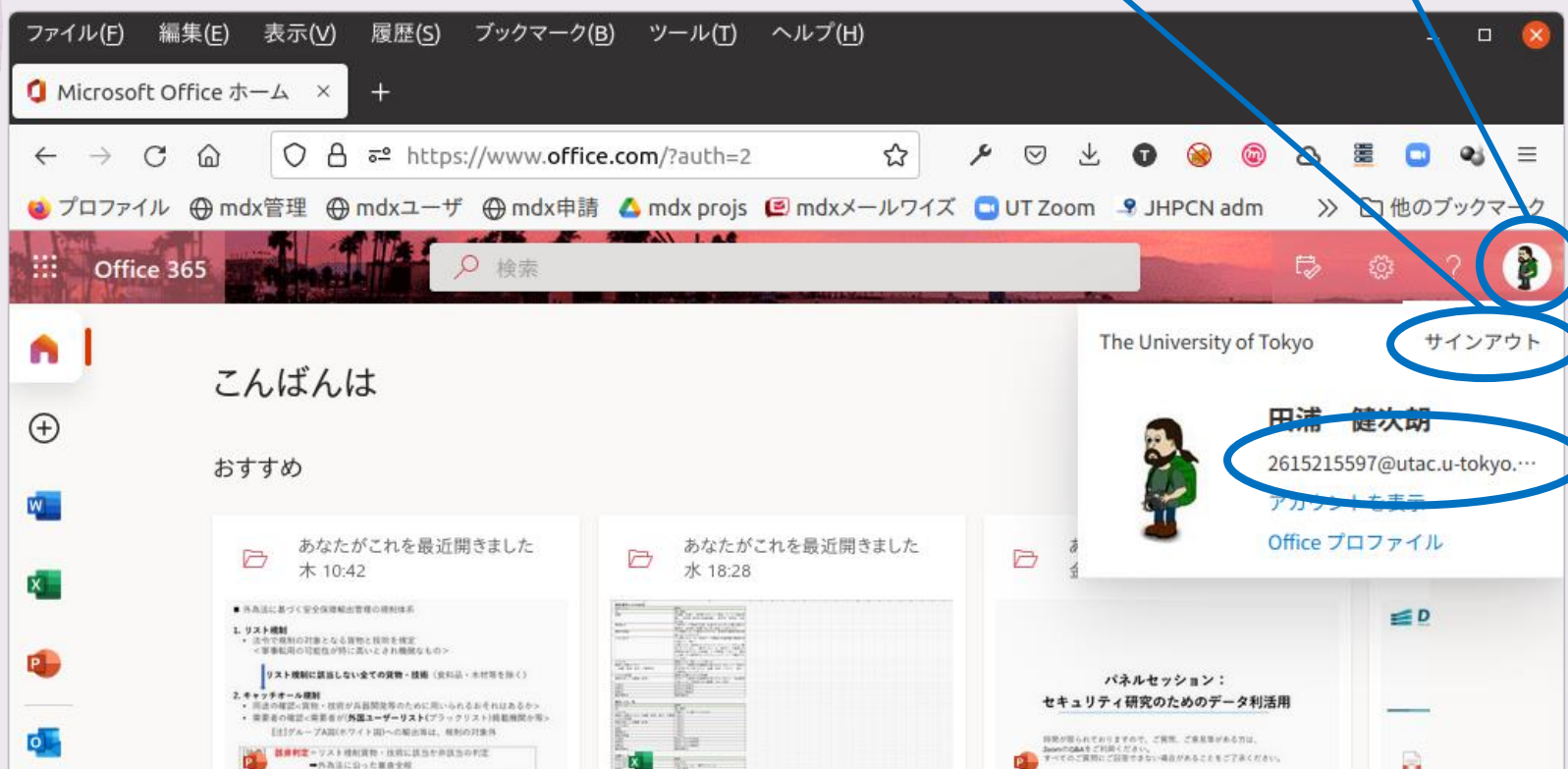


# サインイントラブル 脱出に有用な処世術

- ◆ どのアカウント（個人？大学？）を使っているか確認・切り替え
- ◆ 「何も覚えていない」 まっさらな状態のブラウザ

# MSアカウント確認・切り替え

- ◆ [www.office.com](https://www.office.com) で右上の  (または設定したアイコン) をクリック
- ◆ 変更したければ一度サインアウト



# 「何も覚えていない」 まっさらなブラウザ

- ◆ 方法1: ほとんどのブラウザがサポート
  - ◆ 呼び方は様々（プライベートモード・シークレットモード・incognitoモードなど）
- ◆ 方法2: 新しい「**プロファイル**」を作成して開く
  - ◆ Firefox, Chromeがサポート
  - ◆ 使うアカウントごとに別プロファイルを作成するのも良いかもしれません
- ◆ 参考: 相談員のページ[Chromeで複数のMicrosoftアカウントを使い分ける](#)

# Google Workspace





# Google Workspace

- ◆ Google Workspace ≈ 組織契約するGoogleサービス
  - ◆ 旧称 G Suite
- ◆ 本学での呼び名 = ECCSクラウドメール
  - ◆ なんとか@g.ecc.u-tokyo.ac.jp というGoogleアカウント
  - ◆ メールだけではなく様々なアプリが含まれるので〇〇メールという呼び方はやや誤解を招く 
- ◆ 有効化（初めての方）、パスワード変更
  - ◆ [https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/eccs\\_cloud\\_email](https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/eccs_cloud_email)
- ◆ サインイン
  - ◆ 方法1: 普通のGoogleページでアカウント名 xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
  - ◆ 方法2: 専用サインインページ <https://mail.google.com/a/g.ecc.u-tokyo.ac.jp>

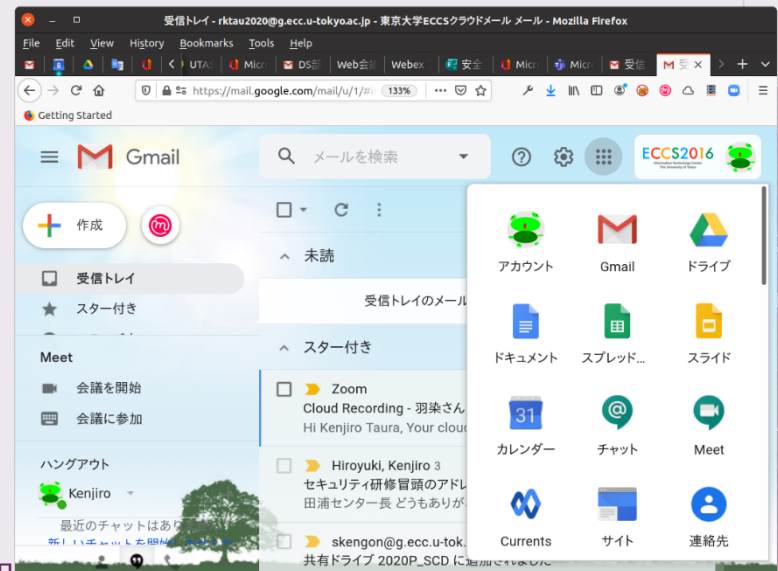


# Google Workspaceサインイン時の罫

- ◆ 有効化してから実際にサインイン可能になるまで少々 **(最大1時間) お待ちください**
  - ◆ 正確には, 毎時 (00分) に有効化がGoogleのシステムに反映されます

# Google Workspace機能

- ◆ ファイル共有: Google Drive
- ◆ 文書作成: Google Document, Spreadsheet, Presentation
- ◆ アンケート: Google フォーム
- ◆ Web会議: Google Meet
- ◆ LMS的機能: Google Classroom





# M と G 整理

	M社	G社
ファイル共有	OneDrive	Google Drive
オフィス系ソフト	Word, Excel, PowerPoint	Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド
Web会議	Teams（教職員のみ）	Google Meet
アンケート・クイズ	MS Forms	Google Form
LMS相当機能	Class Notebook	Google Classroom
本学アカウント	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

- ◆ 知っておくべき大きな違いはGoogleサービスが中国からアクセスできないこと

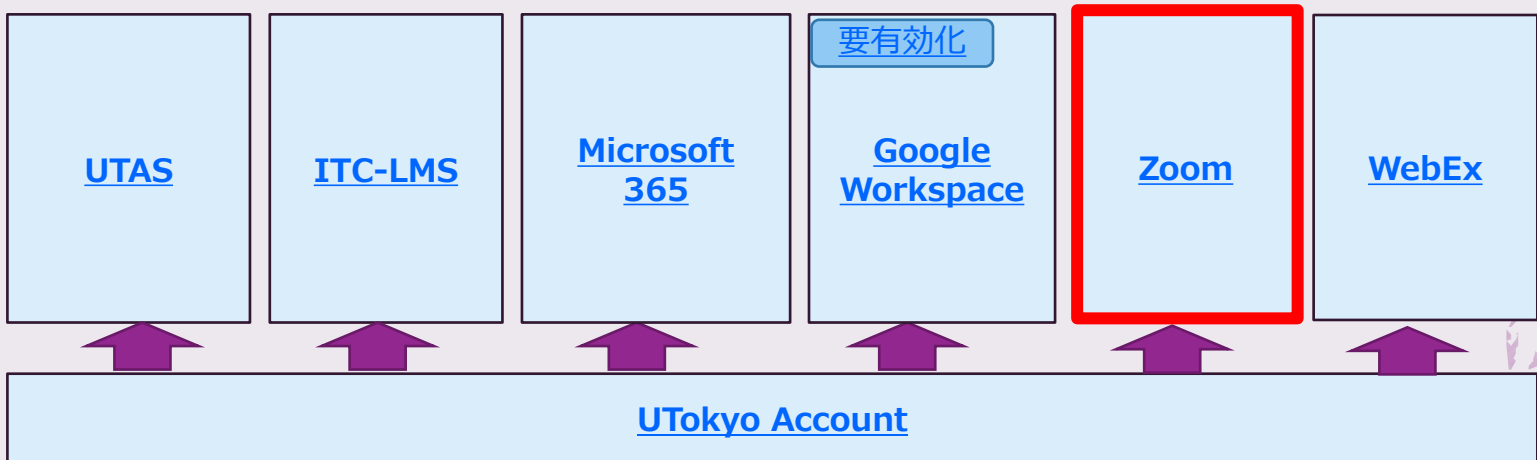
# MとG大学組織契約の存在価値

- ◆ 大学内の不特定多数の人と情報を共有
- ◆ ファイル共有・共同編集を安全に、うまく使えば授業以外の業務効率化もできます
  - ◆ 共有範囲
    - ◆ 特定の人を名指し
    - ◆ 組織内なら誰でも
    - ◆ 誰でも
  - ◆ 検索で見つかるか否か (Google)
  - ◆ ダウンロード可・不可

# Zoom

## ◆ サインイン方法3つ

- ◆ どれも意味的には同じことをやっています
- ◆ 方法1がどう見ても簡単ですが、どうなっても戸惑わないよう3パターン説明します



# Zoomサインイン方法1

- ◆ 東大用Zoomページ <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile> にアクセス
  - ◆ 注：すでに別のアカウントでsign inしていたら一度sign outしてやり直し

# サインイン方法1: 流れ

## A. スタート

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>

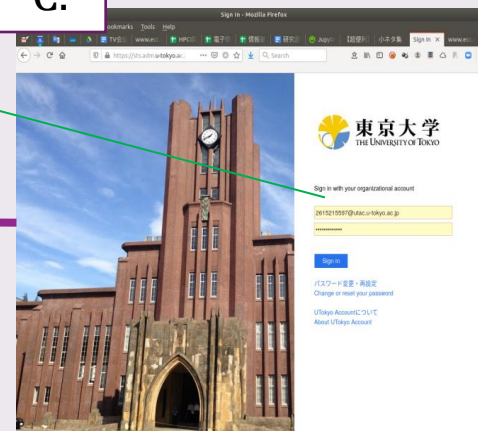
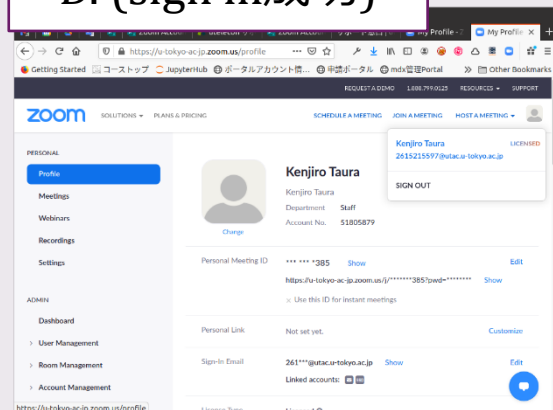
(または <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/> → Configボタン)

C.

入力: UTokyo Account  
名、パスワード

多要素認証

D. (sign in成功)

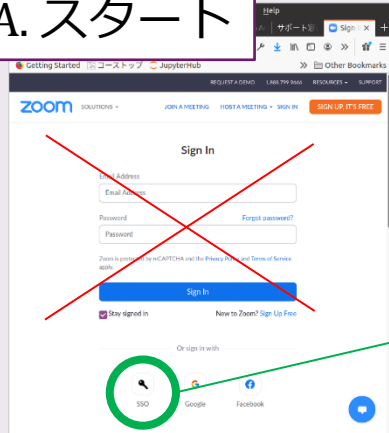


# サインイン方法2

- ◆ Zoomページ <https://zoom.us/> (→ 必要ならばいったんsign out) → sign in → ページ下部SSOを選択
- ◆ 「会社のドメイン」に [u-tokyo-ac-jp](https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/) 入力

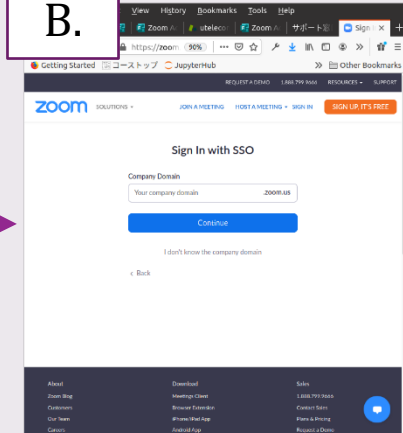
# サインイン方法2: 流れ

## A. スタート



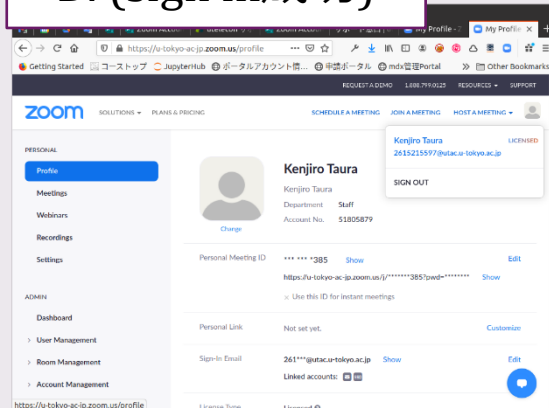
入力: 会社ドメインに **u-tokyo-ac-jp**  
(所属組織を明示)

## B.



Zoom サインインページで  
**SSO**ボタンを押す

## D. (sign in成功)

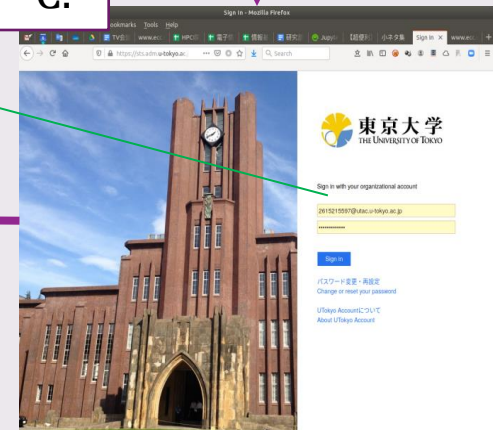


入力: **UTokyo Account**  
名、パスワード

多要素認証



## C.



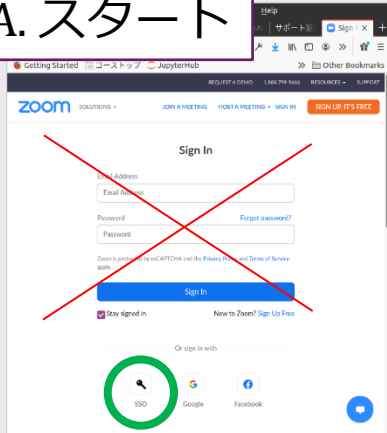


# サインイン方法3

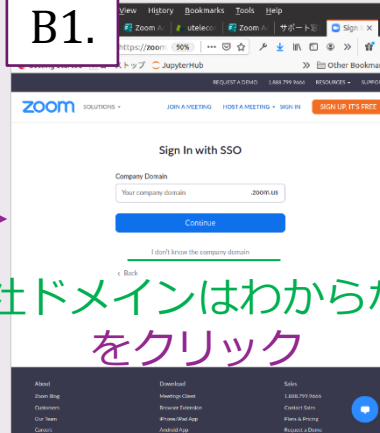
- ◆ 途中まで方法2と同じ
- ◆ 「会社のドメインを知らない」をクリック
- ◆ 「会社のEmail」に10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

# サインイン方法3: 流れ

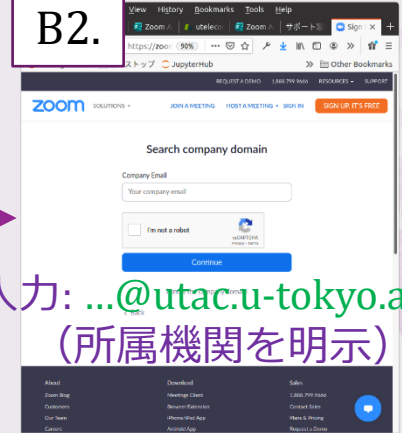
## A. スタート



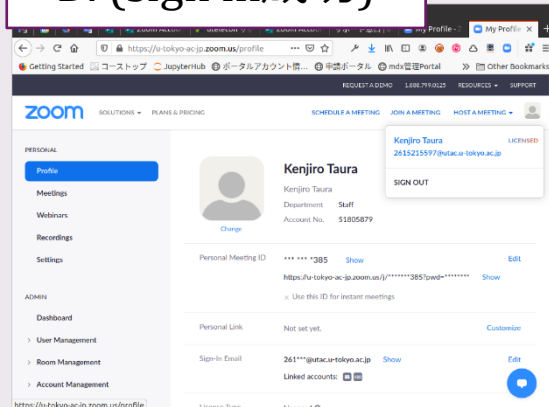
## B1.



## B2.



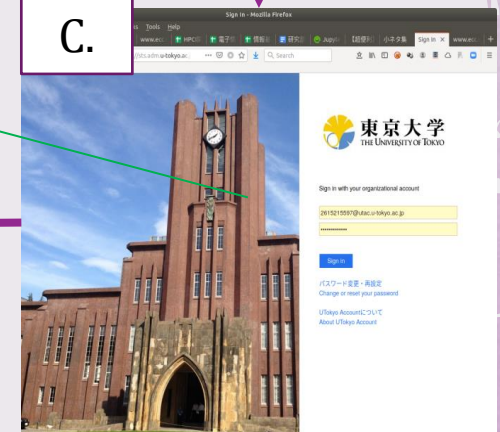
## D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、パスワード

多要素認証

## C.



2022/3/16

2022Sセメスタ説明会  
<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/>

24

# まとめ

- ◆ 方法1でURLをbookmarkしておくがお勧め
  - ◆ <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile>
- ◆ 変な所へ連れ込まれた時のため以下を覚えておくとよい
  - ◆ (方法2) 会社のドメイン名 = u-tokyo-ac-jp
  - ◆ (方法3) ユーザ名 = 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

# Zoomに関する追加情報

- ◆ ウェビナー・大規模ミーティング
- ◆ 本学での「正しい」Zoom ユーザ名
- ◆ Zoom最近の追加機能
  - ◆ End-to-end暗号化
  - ◆ フォーカスモード
  - ◆ ブレークアウトルームへ向けての画面共有
  - ◆ 複数ミーティング同時参加
- ◆ （そのうち）古いZoomクライアントはアップデートしないと使えなくなる件

# ウェビナー・大規模ミーティング

- ◆ 大学ライセンスで開催できるのは参加者数300人までのミーティング
- ◆ ウェビナーや大規模（301人以上）ミーティングを開きたい方は[Zoomの追加ライセンス](#)から申請してください

	用途	利用可能期間	参加者数	本学の契約（同時提供可能）数
大規模ミーティング	主に授業向け	学期単位	500人まで	150本
			1000人まで	30本
ウェビナー	授業・イベント向け	1イベントにつき、最大1カ月間	1000人まで	70本
		※原則、準備～イベント当日～後処理、全て含んで1カ月	3000人まで	10本

# 申請に当たってのお願い

- ◆ 申請は教職員が行ってください
- ◆ 手作業でライセンス付与していますので  
余裕を持った申請をお願いします

- ◆ 目安

ミーティング	付与開始希望日の1週間前まで
ウェビナー	付与開始希望日の2週間前まで

- ◆ 4月からの授業の序盤に300人以上の学生  
が出席するかもという先生は今のうちに  
申請お願いします!

# 本学での「正しい」 Zoomユーザ名

- ◆ 歴史的な経緯で色々なZoomユーザ名が混在しています
  - ◆ [tau@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:tau@g.ecc.u-tokyo.ac.jp) (通称：任意@g.ecc)
  - ◆ [1234567890@g.ecc.u-tokyo.a.jp](mailto:1234567890@g.ecc.u-tokyo.a.jp) (通称：10桁@g.ecc)
  - ◆ [1234567890@utac.u-tokyo.ac.jp](mailto:1234567890@utac.u-tokyo.ac.jp) (通称：10桁@utac)
- ◆ 10桁@utac のみに整理していきます



# 自分が「正しい」ユーザ名を使っているかわからないのですが...

- ◆ 説明した方法（SSO）でサインインしてみる
- ◆ **Case 1:** 普段使っているものである（たとえば予定している授業やミーティングが表示できる）→ OK!
- ◆ **Case 2:** 普段使っているものと違う気がする...
  - ◆ 普段のもの（ミーティングスケジュールや録画など）が特段不要 → done!
  - ◆ 普段のものから内容を引き継ぎたい → <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/notice/zoom-address-new>

# Zoom最近の機能追加

- ◆ End-to-end暗号化
  - ◆ 特に機密性が要求される会議に有用
- ◆ 同時に複数ミーティングへ（アプリで）参加
- ◆ ブレークアウトルームへ画面共有
  - ◆ グループワークしてる学生に先生から「一斉お知らせ」したいときに有用
- ◆ フォーカスモード
  - ◆ カメラをONにしたときホストしかそれを見れません
  - ◆ 学生にカメラをONさせたいが、全員に顔見せ強制はできないという場合に有用
- ◆ 説明、使い方はすべて[こちら](#)

# 古いZoomクライアントはアップデートしないと使えなくなる件

- ◆ Zoomの[アナウンス](#)
- ◆ 以下が（そのうち）起きる（実施延期中）
  - ◆ ある程度以上古いZoomクライアントは使えなくなる（接続時に更新を要求される）
  - ◆ ある程度以上古い = 最新版リリースより9か月以上経過したもの
  - ◆ 接続時に慌てないようこまめな更新が必要

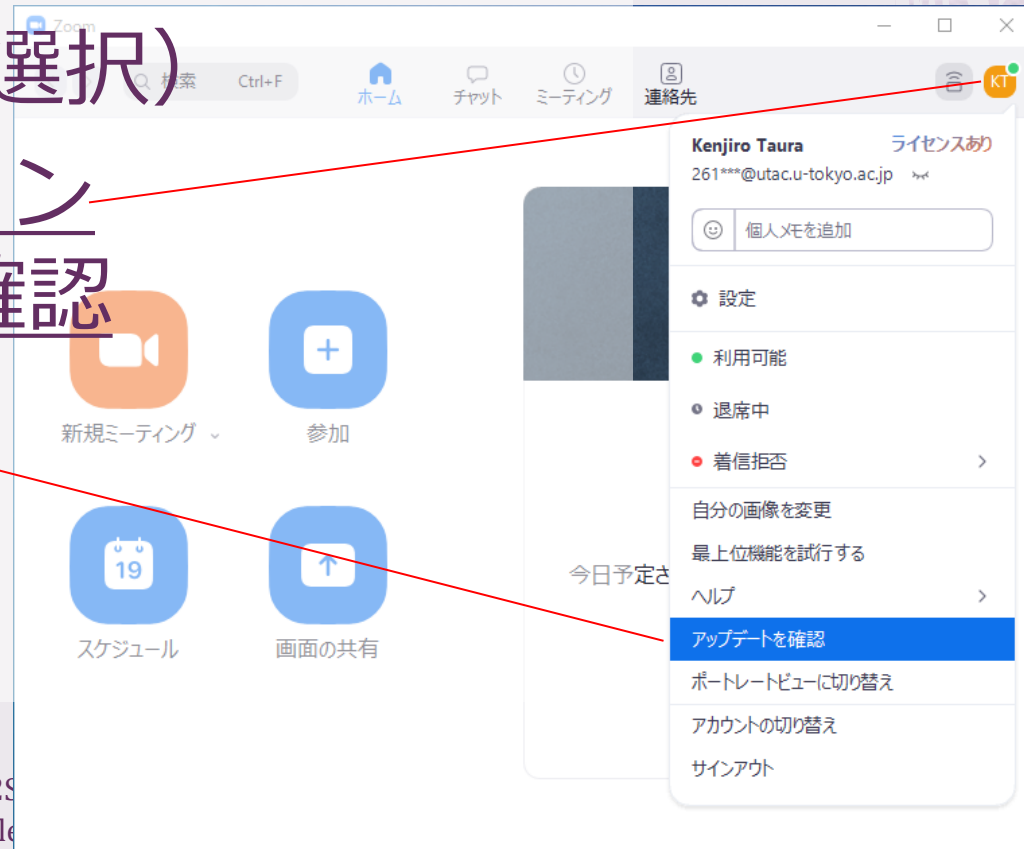
# 最新版にする方法

## ◆ Zoomの「アプリ」を立ち上げ

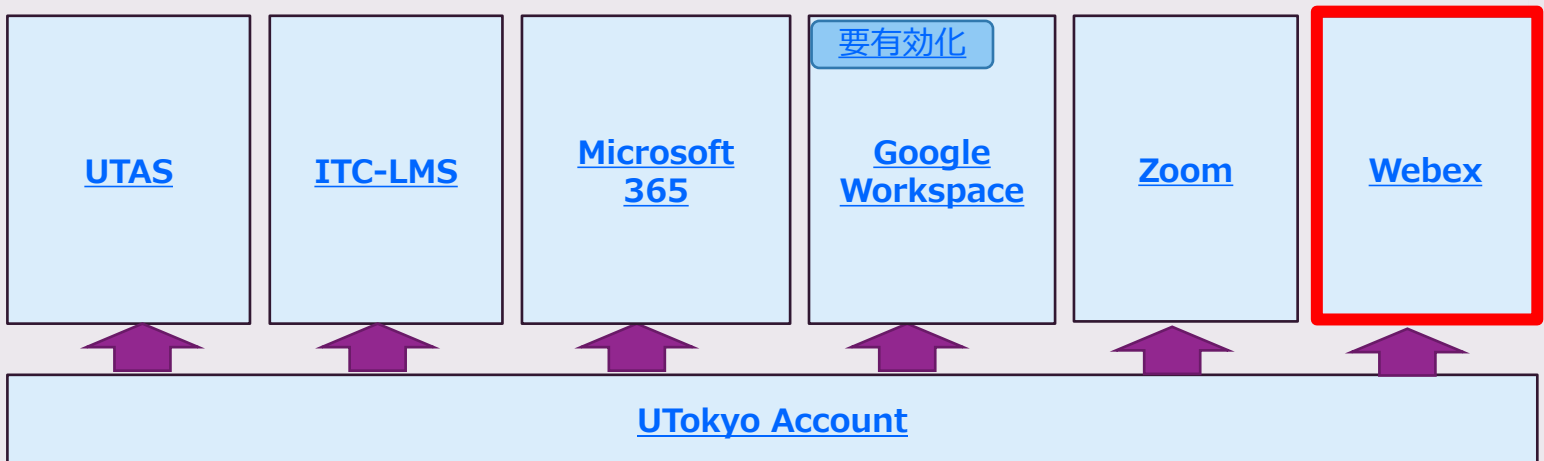
- ◆ ブラウザでURLクリックではなく、WindowsスタートメニューなどからZoomを立ち上げ

## ◆ サインイン（SSOを選択）

## ◆ 右上の自分のアイコン → アップデートを確認



# Webex





# Webex

## ◆ サインイン

- ◆ <https://utelecon.webex.com/>
- ◆ UTokyo AccountでSSO

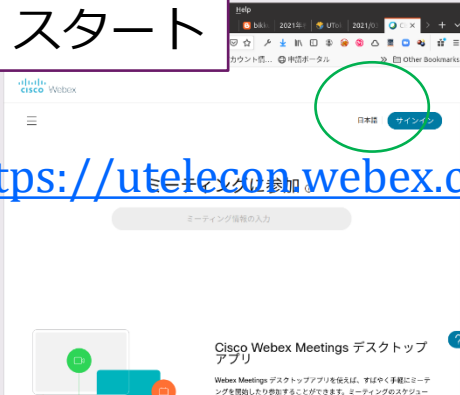
## ◆ 機能

- ◆ Webex Meeting (1000人まで) ≈ Zoom Meeting
- ◆ Webex Events (1000人まで) ≈ Zoom Webinar

# サインイン: 流れ

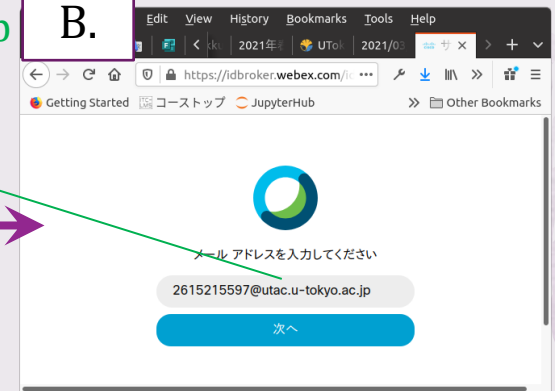
## A. スタート

<https://utelecon.webex.com/>

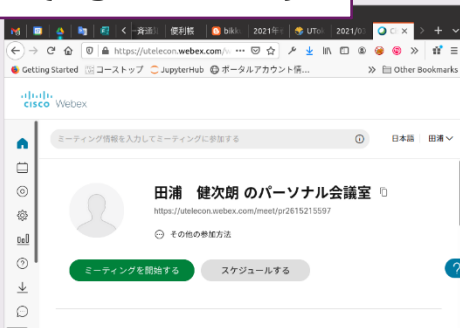


入力: 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属組織を明示)

## B.

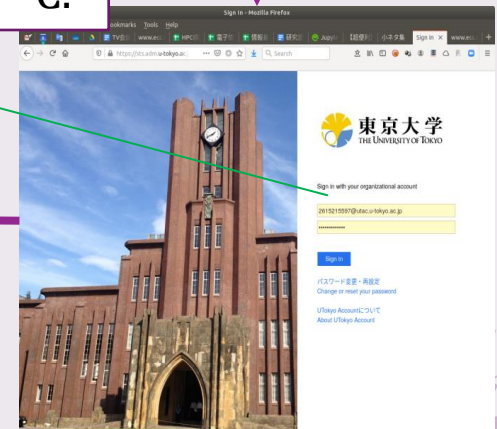


## D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

## C.



多要素認証





# Web会議比較

	Zoom	Webex	Meet	Teams
デフォルト収容人数	300 (*)	1000	100	300
国境問題	中国でアプリ提供停止		中国から使えない	
E2E 暗号化	<u>○</u>	○		
同時に複数参加	<u>○</u> (☆)	○	○	○
待機室	○			○
手上げ	○	○	○	○
投票	○	?		

- ◆ (\*) こちらの[フォーム](#)から申し込んで300を超える会議やウェビナーを開催できますが数に限りがあるので、Webexもお考え下さい
- ◆ (☆) ブラウザで複数参加は従来より可能。デスクトップアプリでも動作確認が済み次第有効化予定（現在有効化されていません）


# sli.do

## ◆ Q&A、アンケートツール

- ◆ これをすると学生がよくQをするようになるという噂です

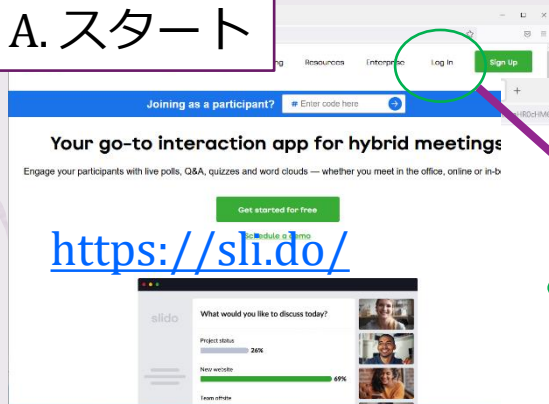
## ◆ このたびUTokyo Accountで有料機能が使えるようになりました ([説明](#))

## ◆ サインイン方法

- ◆ Log in →  Log in with Webex を選択
- ◆ あとはWebex同様（UTokyo Accountを利用）

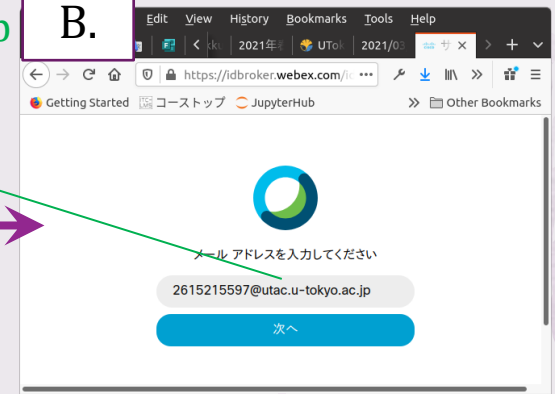
# サインイン方法

## A. スタート



入力: 10桁@utac.u-tokyo.ac.jp  
(所属組織を明示)

## B.

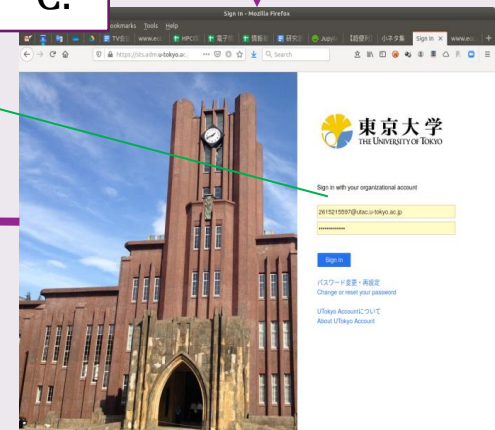


## D. (sign in成功)



入力: UTokyo Account名、  
パスワード

## C.



多要素認証

# まとめ

- ◆ 多くのシステムがUTokyo Accountだけでつかえます
- ◆ システムごとに異なる名前やPWが不要
- ◆ 聞かれたら以下を覚えておくのが○
  - ◆ ユーザ名 : [10桁@utac.u-tokyo.ac.jp](mailto:10桁@utac.u-tokyo.ac.jp)
  - ◆ Zoomドメイン名 : u-tokyo-ac-jp